

(1) 品詞とは

・品詞…語をその形態や機能から分類したもの

(2) 覚えるべき品詞

覚えてほしい品詞は、名詞、形容詞、副詞の三つです。特に形容詞と副詞の違いに注意!

〈名詞〉…人や事物の名前や概念を表す語 (本トレーニングでは代名詞も名詞に含めます)

例) Tom, a flower, she, her, the importance

〔形容詞〕… (簡単な定義) 日本語に訳して「～い」「～な」で言い切りになるもの (90%) ※

(正式な定義) 名詞や代名詞を修飾 (詳しく説明) する語、状態を表す語

例) a tall man, a small park, a big cake, a beautiful flower

〔副詞〕…名詞以外 (動詞、形容詞、副詞、文全体) を修飾する語

例) very good, so small, honestly, He speaks slowly.

「ケイメイ (形容詞は名詞を修飾)」、「副詞は名詞以外を修飾」と覚えましょう!

・例外: 上級者のみ参照

まれに副詞が名詞を修飾する場合、また名詞 (句) が副詞として働く場合もありますが、あくまでも例外です。

副詞が名詞を修飾している例

Most of the students (today) have never used a public telephone. (今日の学生の多くは、公衆電話を一度も使った事がない。)

today は副詞だが
名詞 students を修飾

名詞が副詞として働いている例

I will attend the meeting <this afternoon>. (私は今日の午後その会議に出席します)

this afternoon は名詞
だが副詞として機能

【重要】本トレーニングで使う品詞の記号

名詞 → < >

形容詞 → []

副詞 → ()

※日本語訳において「い」、「～な」で言い切りにならない形容詞

→angry, sick, happy 等々。

He is angry. Tom is sick. She is happy.等、SVC の簡単な例文を考えてみた場合、angry, sick, happy はそれぞれ主語の状態について説明しています。

- ・品詞の判別→△ 「この単語は副詞で、この単語は形容詞で…」のように一つ一つ覚えてゆく
- 総合的判断（文の意味、位置、接尾辞等）→特にどういう風に機能しているかを考える

単語帳ではしばしば形容詞の章、副詞の章という品詞ごとの分類がされていますが、実際には一つの単語が複数の品詞として働く場合が多くあります。それ故、「その単語がどういう働きをしているか」を考えることが大切です。次のページで、頭の動かし方を覚えましょう。

- ・副詞と形容詞両方の働きをする単語の例。

Most <students> enjoyed the school festival. →most は名詞 students を修飾しているから形容詞

This is the most [expensive] bag. →most は形容詞 expensive を修飾しているから副詞

- ・名詞と動詞両方の働きをする単語の例

Give me some water, please. →この場合の water は「水」で名詞

He waters the plants every day. →「彼は毎日植物に水をやる」。この場合の water は「水をやる」で動詞

He works at Google. →この場合の Google は名詞。

Google it! →いわゆる「ググれ！」の意。この場合の Google は動詞。

ある単語が動詞の位置にあれば、動詞としての働きをします。

→その単語が「どういう働きをしているか」という発想が基本。

- ・接尾辞の例

-ion → 名詞（状態、動作の結果の意） ex) action, decision

-able, -ible, -ble → 形容詞（能力の意） ex) capable, reliable

形容詞+ -ly → 副詞 ex) slowly, efficiently

名詞+ -ly → 形容詞 ex) lovely, friendly

→接尾辞もある程度参考にはなります。

→実践演習 Part A ~